

2018.03

発行代表者：鎌田 龍児 編集代表者：深田 稔 印刷：奥野印刷

関西岩手県人会 〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9F 岩手県大阪事務所内
【TEL&FAX】 06-6344-5969 【ホームページ】 <http://www.iwate-kansai.com/>

平成30(2018)年度総会・新春懇親会

2018.1.28(日) スーパードライ梅田 出席者：63名

達増拓也・岩手県知事の祝辞

岩手県商工労働観光部

藤澤敦子副部長 代読



祝 辞

平成30年1月28日

岩手県知事
達増 拓也

関西岩手県人会 平成30年度総会並びに新春懇親会の開催に当たり、お祝いを申し上げます。

御参会の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

関西岩手県人会の皆様には、野球やラグビーの全国大会出場校に対する激励や応援をいただいているほか、東日本大震災復興支援のためのイベントの企画・実施、県産品の普及・販売など、日頃から、ふるさと岩手の発展のため、県政のあらゆる分野にわたり御支援、御協力をいただいておりますことに対し、深く感謝を申し上げます。

昨年、岩手県の県産品においては、一昨年の県産米「銀河のしづく」に続いて、「金色の風」がデビューし、金銀そろって全国トップクラスの評価をいただけております。岩手・青森の関西圏でのアンテナショップ「ええもんショップ」を拠点として、県産品や観光などの旬の情報を関西の皆様に更に発信してまいりますので、今後も応援を賜りますようお願いいたします。

また、文化スポーツの面では、全国高校野球選手権大会で、皆様の熱い応援のお陰もあり、盛岡大学附属高校が、昨年、春・夏連続ベスト8に進出するなど、岩手の若者がすばらしい活躍をしているほか、岩手県関係作家が2期連続芥川賞受賞の快挙を上げるなど、一昨年の国体のレガシーが確実に引き継がれています。

さて、東日本大震災津波から間もなく7年となります。岩手県では、恒久的な住宅への移行やなりわいの再生など、大災害からの復旧・復興に全力で取り組んでいます。

このような中、この3月には県立高田病院が開院し、被災した県立病院すべてが再建します。三陸復興道路や三陸鉄道もかつてないスピードで整備が進んでおり、これらが連動することにより、観光や地域産業を含め三陸地域のポテンシャルが大きく高まることが期待されます。

さらに、ILC・国際リニアコライダーの誘致の実現に向けた活動や、ラグビーワールドカップ2019™釜石開催、三陸防災復興博（仮称）の開催準備など、岩手全体の魅力と信頼をさらに高めるため、力を注いでまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、新しい年が、関西岩手県人会の皆様にとってすばらしい年となりますよう祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



藤澤敦子副部長他の
ご来賓を迎えて
記念撮影

<総会:11時45分より～新規財源として会報イーハトーブへの名刺広告を承認～>

例年のように藤井勝副会長の司会で鎌田龍児会長の挨拶の後、慣例により鎌田会長が議長に選出され、平野良夫事務局長の議案説明で始まった。

第1号議案：平成29年度事業報告ならびに

収支決算および監査報告

特筆される行事：①東日本大震災復興支援として、大阪稻門グリークラブ60周年記念コンサート(3月)での募金活動および大阪御堂筋本町ロータリークラブの社会奉仕活動による「大槌町での歌の交流会（10月）」に参加した。（鎌田会長）②清水寺の「南部風鈴を愛する会」（及川静衛前京都岩手県人会長主宰）を開西4団体（関西岩手県人会、京都岩手県人会、関西奥州会、関西アテルイ・モレの会）が共同開催することになり、8月の1か月間、復興祈願の南部風鈴が清水寺境内に鳴り響いた。③県人会報イーハトーブ33号から「会員近況欄」を設け、また34号から「職域幹事だより」として、在阪マスコミ各社の支社長や岩手県関連の大坂支所代表にご寄稿願い、会報紙面の充実を図った。④第89回選抜高校野球大会（3月）に、不來方高校（21世紀枠）が初出場、盛岡大学附属高校が春夏甲子園に出場し共にベスト8に進出。他に第62回全国高校軟式野球大会（8月）に専修大学附属北上高校が、第26回全日本高校女子サッカー選手権大会（12月）に「なでしこ専大北上」および第97回全国高校ラグビー大会（12月）には黒沢尻工業高校が3年連続29回目の出場を果たした。県人会はこれら選手の宿舎の激励会を主催、また試合の応援に参加した。⑤「やもめの会（会長小宮山さき子・

青森県人会）」が3月に発足、北東北3県人会横断の誰でも参加できる組織に発展し、関西岩手県人会から溝井まさ氏が副会長に就任。桐の会（女子会）と同様、通信事務は事務局が代行する。

決算報告：深田稔常任幹事より説明、「一般会計」では会員の老齢化などにより、会員減に伴う会費収入が先細りであるが、新春懇親会でのご祝儀や柏山喬顧問など篤志家のご寄付等があり、支出では選抜出場校の1校増加、奥州会10周年総会出席、京都岩手県人会35周年記念誌への広告など支出増もあったが、会報の発行と次の行事案内を兼ねることにより郵送費を、行事の少ない月は事務局業務を休む等して交通費をそれぞれ節約し、次期繰越金を極力残した。

監査報告：和賀亮太郎監事により問題なしと報告され拍手で承認された。

第2号議案：平成30年度(2018)事業計画および収支予算

事業計画：ほぼ例年通りの行事を開催する。春の選抜高校野球は第90回記念、夏の高校野球選手権大会は第100回記念であり、会員の行事への参加および試合応援を期待する。

収支予算：昨年12月20日の役員会で提案し承認された通り、イーハトーブ36号の名刺および氏名広告の収入を¥50,000計上した。支出は昨年同様節約に努めるとし、ほぼ昨年と同程度の収支予算を提案し承認された。「新春懇親会の募金箱に昨年より多い¥25,000の義援金が寄せられました。ありがとうございます」（事務局一同）

<新春懇親会：12時より～見事な歌唱力／どんぐりコールミュージカル～>

定刻通りに千葉たみ子氏の総合司会で始まった。

◎黙祷：冒頭に平野事務局長の呼びかけで、昨年亡くなった会員の坂下太一氏また東日本大震災犠牲者を偲び全員起立して黙祷した。

◎会長挨拶：鎌田龍児会長がご来賓へのお礼を述べた後、新年早々幸先の良いニュースとして、芥川賞が遠野市出身の若竹千佐子さんに、直木賞が門井慶喜氏に授与され、受賞作品はいずれも宮沢賢治に関連の深い内容であったことを紹介。昨年大槌町を訪問して、祭りに集う若者の引き締まった表情と子供たちの笑顔に明るい明日を感じたこと、今後も被災地支援を続けると述べた。

◎来賓紹介と祝辞：

藤澤敦子副部長（前掲・右写真）、菅原ゆかり主任主査（岩手県商工労働観光部、商企画室）、福田晃所長（岩手県大阪事務所）、古澤聖子主事（同左）、佐藤耕吉副会長（京都岩手県人会）の各氏をご紹介、代表して藤澤敦子氏が達知事の祝辞を代読した。



◎新会員紹介：昨年8名の入会があり、そのうち当日ご出席の境谷智明氏（岩手日報大阪支社長）、我妻貴子氏（盛岡市）、松原志朗氏（釜石市）の紹介があった。

◎乾杯：京都岩手県人会の会長代理で、佐藤耕吉副会長にご発声をお願いした。京都岩手県人会は今年創立35周年を迎える、祝賀会開催と記念誌発行を計画中とのことである。

◎アトラクション：しばし会食・懇談の後、どんぐりコールミュージカルスクールを主宰する堯律子常任幹事の計らいで、専属ヒアニスト金丸精志（きよし）氏と歌い手の斎藤尚希氏が登壇し岩手に因んだ数曲を披露した。アンコールを含めて見事な歌唱力に会場は拍手で湧いた。その後は恒例のカラオケが、あらかじめ申込みの4名の他に数名が続いた。時間の関係で打ち切られ来年にまわされた方もおられた。



どんぐりコールのお二人

◎福引：恒例の福引は役員カンパが源資の商品券（3千円7本、2千円14本、1千円29本）の他、鎌田会長ご提供のお米（ご友人が耕作されたひとめぼれ）が18ヶも

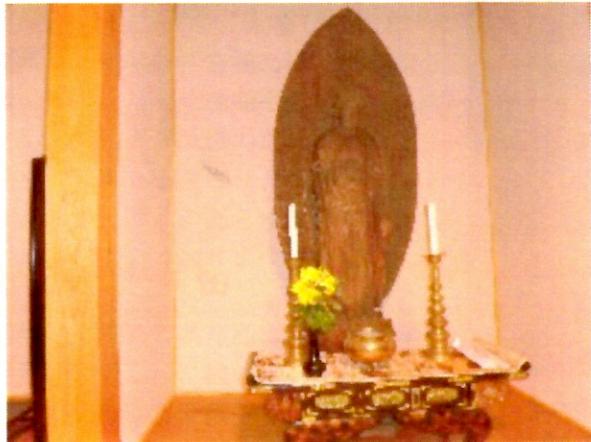
あり、空くじなしの上5ヶが再くじ引きで2重に当たった果報者もいた。なお、今回のくじは出席者名簿の番号と、回転手動式のビンゴゲーム機からはじき出されたボールの番号と照合する形式を採用した。

◎中締め・お土産：金野衛副会長が大きな声で中締めの挨拶をした後、司会の千葉たみ子氏が閉会を宣言した。各自岩手県産㈱の手配してくれたお土産を手に散会した。（事務局F記）

高田松原の流木が「阿弥陀如来」に変身し 帰郷 平成29年11月12日 本会顧問 松坂定徳

＜莊嚴寺・松坂家菩提寺にて開眼法養＞

東日本大震災が発生して早や6年8ヵ月。高田松原は拙家4代目の祖・松坂新右衛門定宣（仙台藩金山奉行）が、農民の作柄を心配し自費で植樹したものである。流木の中から立派な松材を矢作町の村上製材所（村上富夫社長）に選んで頂き、平成29年春、京都伝統工芸大学校の仏像彫刻科に搬送して頂いた。新学期が始まると同時に莊嚴寺が希望した「阿弥陀如来立像」の制作に着手され、この秋、台座から後背まで丁寧に仕上げられた。仏師の須藤光昭教授によると近年にない出来栄えであると学生を称える。10月の学園祭に仏像彫刻科の代表作品として発表会に展示され、学園祭終了と同時に10月27日、陸前高田市竹駒町の「莊嚴寺（しょうごんじ）」に向けて出発し、翌28日午前中に莊嚴寺庫裏の仏間に鎮座した。



阿弥陀如来立像

（寄木造り、高さ:1m70cm、台座・光背を含む）

11月12日（日）の開眼法要では、「阿弥陀如来立像」は本堂内陣の右脇に移され、白い布で覆われていたが、読経と同時に布が外され、阿弥陀如来立像のお姿が披露された。立像は古色の漆に包まれており、2~3m前に座り、お姿を見上げると阿弥陀様の目と一致する。

法要終了後には阿弥陀如来を囲み記念撮影会が行われた。

＜莊嚴寺縁起＞

莊嚴寺は、松坂家初代の松坂徳右衛門定久（伊勢国松坂氏第17代当主）が文禄2年（1593）玉山金山に来住し、豊臣秀吉公に氣仙郡の金山奉行に取り立てられ、

文禄4年には伊達政宗公に懇願され伊達領金山全般の管理を委嘱され伊達領の金山奉行になる。慶長2年（1597）には、竹駒邑の玉山金山の地に莊嚴寺を創建した。その後、金山の衰微と共に同村仲の沢の地に移転している。慶長2年の年は、父松坂新次郎近江守盛定が永禄の乱で足利義輝卿と共に戦死し33回忌の年に当たる。父の法号「無量院殿」と育て親でもある祖父の法号「莊嚴院殿」から名付けた「功德山無量院莊嚴寺」を創建しており、御本尊の阿弥陀三尊像も名仏師の「定朝」作を安置し、扁額も素晴らしい立派な作品を掲額していた。

惜しくも平成26年1月14日未明に出火した火災により本堂庫裏共全焼し寺宝の全てを失った。恐らく創建時には、早くから創建計画を構想し、用意周到の準備の後に着工されたものと思われる。なぜなら仏師の定朝は570年も前の人であり、定朝作の仏像入手すること自体が困難であるからである。開山和尚には岩城領山崎の浄土宗奥州總本山梅福山専称寺から生蓮社一白良往大阿上人をお迎えし開山和尚とした。定久は、鉱山知識に詳しいだけでなく文学・能書にも長けていたと言う。

＜開眼法要余話＞

開眼法要に参加するため、関空から仙台空港に行き、一ノ関駅で従弟の松坂泰盛先生に迎えに来て頂く。大原（大東町）生まれの又従兄弟鈴木秀穂君が駅近くの老人ホームに入居していると聞き見舞う。彼の父（教員）が収集していた古文書や美術品を見ていた小生が、芦東山の文書だけでも泰盛先生に委託して活用されはどうかと提案した。本人も悩んで居たらしく直ぐに同意した。彼との関係は、祖母の妹の家であり、祖父の弟（竹駒神社宮司）の次男の養子先でもある。「縁は異なるもの」貴重な古文書の移譲が即決した。

12日朝9時泰盛先生に送られて莊嚴寺に行くと須藤先生夫妻が到着して居り、間もなく村上製材の社長がお見えになり「ご縁に感謝」と大書した大きな木箱を持参し、小生に進呈すると言う。箱は杉箱であるが、中身は松原の松で作った立ったままで使用する大きな「靴べら」であった。



開眼法要に集まった檀信徒および製作関係者

第24回(23周年)『阿彌流為・母禮之碑』法要の報告

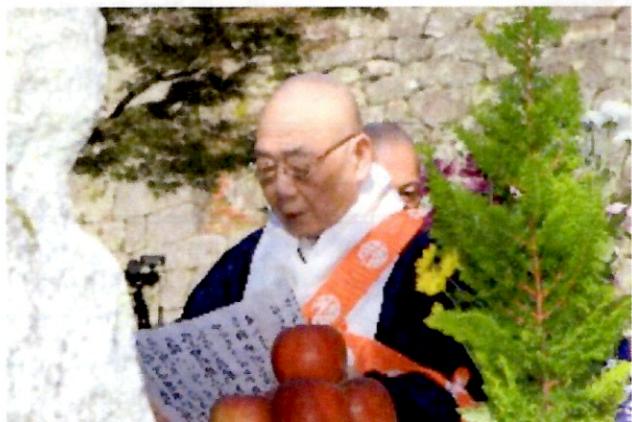
法要当日、未明の雷を伴なった雨も朝には上がり、晴天の下『阿彌流為・母禮之碑』法要の行事が始まりました。

9時半、50名ほどの会員が仁王門前の「馬留」の前に集まり、学芸員坂井輝久先生より「清水寺創建後10回焼失・再建」の歴史解説の後、工事現場担当の島田氏の案内で「日本の社寺の大屋根の比較で第3位」の本堂大屋根の葺き替え工事を見学しました。

その後碑前にて森美和子氏の篠笛で心を鎮め、森清範貫主様以下全山僧侶による法要が営まれました。禪文化研究所理事長・萬壽寺住職佐々木道一老師様、衆議院議員穀田恵二様、奥州市市長小沢昌記様他多数のご来賓と、関西会員、奥州市、伝阿彌流為・母禮之塚保存会の関係者百余名が参列致しました。

円通殿で行われた森貫主様によるご法話では、冒頭アテルイを顕彰する会・会長及川洵氏、田村歴史観光協議会・会長影山勝夫氏が病氣療養、関西アテルイ・モレの会・前会長松坂定徳氏がご供養のため岩手に帰省中で、重鎮3名がお見えにならないのは寂しい、来年の再会を期待したいとお言葉がありました。次いで本堂大屋根の工事に関し、明治初期「廢仏毀釈」で寺が困窮した時代があり、明治32年国宝に指定されて大改装ができた、その時の費用は京都市の予算の十分の一だった。本堂の清水型千手観音像は平泉の中尊寺にもある、奥の院の毘沙門天像は阿彌流為らの姿を模している、等の説明を受けました。工藤葉子氏によるネバー

昨年(2017年)11月11日(土)
関西アテルイ・モレの会 会長 和賀亮太郎



表白（願文）を読み上げる森清範貫主

ル古典仏教舞踊「文殊菩薩（マンジュシュリー）」を奉納、小堀幸子氏の解説を受けました。

午後の懇親会にはご来賓・関西会員65名、奥州会員20余名、塚保存会4名、清水寺様4名の90余名の参加で、内サポーター20名と当会の将来に夢を持たせてくれました。青森県弘前市から初参加された女性の方からも『阿彌流為・母禮の会への期待』を頂戴し、今後も益々の努力を心に念じました。

関西岩手県人会様からは法要に際しては供花を頂き、多数のご参加を賜り、誠にありがとうございました。今後ともご支援、ご協力の程をよろしくお願ひ致します。

第31回北東会ゴルフコンペ開催

北海道と東北6県による恒例の北東会ゴルフコンペが総勢80名の参加の下に開催されました。今年の幹事は福島県 わが岩手は15名が参加（北海道15、秋田10、宮城10、福島14、山形16、青森不参加）。

成績：団体戦はチームの上位5名のネットスコア（ダブルベリア方式）の合計で競われた。順位は昨年に続き優勝は福島（上位5名の合計で、ネット一グロスの順）362.0--428、準優勝 山形365.4--471、3位 北海道367.0--451、4位 宮城370.8--468、5位 岩手372.8--482、6位 秋田373.8--453。

優勝した福島はグロス・ネットとも首位で、グロスではダントツ。わが県はグロス6位・ネット5位と、振るわなかつた。次回の健闘を期したい。

個人戦ではネットスコア上位30位以内では9位・藤井（以下敬称略）、12位・刀根、28位林、29位・菊地と、6名が入っている。15名の参加者各位のご健闘に感謝申し上げますと共に来年も多数のご参加を期待しております。

尚、2018年は青森（不参加）に代わって幹事を担当

昨年(2017年) 11月1日～快晴の六甲カントリー倶楽部にて～
ゴルフ同好会幹事 藤井 勝

する山形県から、10月11日（木）に開催すると発表がありました（場所未定）。

岩手チームのメンバー（あいうえお順・敬称略）：伊藤太元、柏山奮、鎌田龍児、菊地巧、熊谷克己、境谷智明、高木浩、外浦記代美、刀根誠、中村滋、長山幸悦、新田陸夫、林信幸、藤井勝、松本泰州



表彰式後の会食風景

「桐の会」晩秋に芦屋川のほとりで

昨年(2017) 11月26日(日) レストラン・ベリーニ芦屋

桐の会副会長 鈴木綾子

昨年晩秋の暖かい日に、岩手県出身の女性の会・桐の会が芦屋川のほとり・2階の素敵なお部屋に女性10名、男性7名（男性も大歓迎）の17名が集まりました。

堯律子会長の挨拶、会計報告（事務局代行）、竹田修子さんの監査報告に続き、鎌田龍児県人会々長の乾杯で懇親会に入りました。おいしいイタリア料理をいただきながら近況報告。94歳の大森清子さんは一人でJRで来られ大変お元気でした。盛岡の白百合学園高校出身の4人組（岡田公子、山田英子、小山綾子さん、植田細布子さん）も相変わらずの若さで参加、前者の3人は50年来（？）続けて集まっておられるということでびっくりしました。

姫路から参加された浅沼正子さんは、岩手芸術祭に岩手銀行を描いた日本画を出品し見事受賞され 先日授賞式に行ってこられたという嬉しい報告もありました。

いつになんでも幼い時に過ごした岩手の地は懐かし



桐の会のお食事会

いふるさとであることを、強くかみしめたひと時でもありました。堀会長からお土産をいただき、来年の再会を約束し家路につきました。来年(30年度)の会には、今回来られなかつた方もどうぞこの楽しい会にご参加ください。

やもめの会・第1回忘年会開催

昨年、3県人会役員の新年会(1月17日)にて、小宮山さき子氏(青森県人会)が提案したのが発端で、やもめ(独身)に限らず3県人会横断の誰でも参加できる組織に発展した。イーハトーブ34号に同封の会員募集及び7月23日のピアパーティの席上で募集し、本県会員は現在15名となっている。昨年4月14日の設立総会で会則(3県人会員の親睦と融和)および役員の承認があり、本県から溝井まさ氏(紫波町)が副会長に選出され役員会にたびたび出席いただいている。

第1回例会は昨年8月3日でボーリング大会と懇親会があり、今回は忘年会が開催された。参加者は全22名で本県は7名（溝井まさ、岡田公子、杉船敏子、柏山喬、

黒工（3年連続29回目） Aシード校に善戦 ～第97回全国高校ラグビー大会～

開会式直後の第1グランド、開始前にヘリ(毎日新聞社)から試合球が真っ青な芝生に投下され、いやが上にも増す高揚感。ここ8年間で、県勢が初戦で山口県とは4回目となる対決。スコアは36-14(前半15-7)で完勝気味ではあったが、自陣ゴール前に釘づけされる場面も多く、観戦者としては少々冷や汗気分・・・その分勝利の感激は格別。

ふとスタンド周囲に目をやると、工事用足場やクレーン林立で、2年後のワールドカップに向け大規模な改修・改造中。リニューアルされた球技場での観戦も楽しみである。

2回戦(12/30)はAシード校(京都成章)に完敗(0-54)だったが、耐え抜いたスクラムや相手ボールを奪うラインアウト等で失点を57でとどめた雪国の選手たちには拍手を送りたい。

先立つ12/24 宿舎で恒例の激励会が、県人会・県事

～昨年(2017)12月7日(木) がんこ東通り店

金野衛、菊池憲司、深田稔の各氏）であった。

小宮山会長の挨拶、古川氏（秋田県人会）の乾杯の音頭で開宴、和やかな歓談のうちにあつという間に終了時間となり、保坂勇光氏（秋田県人会）の中締めでお開きとなった。

終了間際に小宮山会長から、来年の総会日程・場所および会費の打診があり以下のように決定した。

日時：2018年3月11日(日)11時30分～、場所：神戸ハイバーランド・万葉俱楽部、会費は豪華な料理の￥6,500と決まった。温泉に入り、食事を楽しみ、カラオケに興じるとの趣向である。会員外でも参加可能。（事務局F記）

昨年(2017) 12月27日 & 30日

東大阪市 花園ラグビー場

務所及び岩手日報社が共催する形で行われ、激励金や記念レプリカ・飲料水などが贈呈された。（事務局H記）



黒沢尻工業高校の応援風景

田舎もんは人気もんになれるで」と楽しげに話す娘。おそらく、こういった関西人の気質が起因しているのでは?と思っている。

一昨年末、先の友人(大友啓史という映画監督)を講師として大阪に招き、私が進行役をするという事があった。「30年以上経って、あの時の二人が壇上に立

会員近況 新春懇親会返信ハガキ抜粋(挨拶文省略)

立花正一・則子: 当日は娘(次女)の新宅祝いと重なり参加することができません。私どもも相変わらず毎日忙しく過ごしております。

高橋正吾: 京都に岩手出身の学生寮を作りたい。関西岩手奨学金を作りたい・・・が将来的な私の夢です。

中野由貴: 今年は予定が合わず欠席させていただきます。お花見、ビアパーティには日程が合えば参加しく・・・。

後藤善郎: 当方元気にしております。

千葉本: 都合がつかず残念ながら出席できません。

高木浩: 老人クラブの卓球に夢中の昨今です。

阿部邦彦: 当日所要があり参加致しかねます。

佐藤秀蔵: 残念ながら欠席です。滋賀にいると大阪は遠いです。毎日通勤していたのですが・・・。

及川光夫: 他の創立記念総会と重なっています。残念ながら欠席させていただきます。

菊地巧: 日曜日は教会へ行きますので残念ながら欠席します。

熊谷克己: 当日は教会(FTG・在西宮市)の総会と重なり、従来は県人会を優先しておりましたが、今回は教会に出ることに致しました、申訳ありません。

つとはなあ」と感慨に耽りながら打合せ。その際、「小原、楽しそうだな。大阪合ってるんだな」と言われ、「合ってる? そんなもんやない。わし、ホンマのカンサイジンになりたいんや...」と答えてしました。関西永住を夢見る、今日この頃である。(1月19日受領)

~~~~~  
**川崎紀子:** イーハトーブ35号特別寄稿、松田先生のお話を大変興味深く拝見しました。講演を直接拝聴することはできませんでしたが、自宅にある松田先生の写真集と照らし合わせながら、賢治の世界に想いを馳せることができました。良い特集を組んでくださりありがとうございました。

**酒井清心:** 仕事のため参加できません。

**馬場慶次郎:** 地元の行事と重なってしまったため欠席致します。

**小田島晴夫:** 今回は所要があり参加できません。

**小山文男:** 当日はあいにく都合が悪く出席できません。

**村上忠夫:** 体調不良、また寒波が厳しく年寄りにはこたえます(日が近づくにつれ皆に会いたくなつたとのこと、直前に参加申込み)。

**高橋清紀:** 病気療養中です。

**小笠原茂則:** 病気療養中のため、欠席させていただきます。

**小原重:** 腰痛のため不参加です。

**和田浩:** 日常の動作が自然と可能になることが最大の幸福であることを実感(歩く、座る、寝がえり、便座使用、入浴tec)。薬にも毒にもなるステロイド剤を友とする生活。健康集団の行事は最高の幸福のシンボル。(高橋清紀さん、小笠原茂則さん、小原重さん、和田浩さんの一日も早いご快復を祈ります。・・・事務局)

受付順

### 氏名広告

~ご健康とご多幸をお祈りいたします~

| 氏名    | 現住所  | 生年   | 出身地 | 所属/趣味/一言       |
|-------|------|------|-----|----------------|
| 藤井 勝  | 茨木市  | S17年 | 花巻市 | 桜雲会(花巻北高)関西支部長 |
| 菊地 満昭 | 大阪市  | S18年 | 花巻市 |                |
| 和賀亮太郎 | 京都府  | S18年 | 一関市 | 関西アテルイ・モレの会    |
| 長山 幸悦 | 神戸市  | S22年 | 二戸市 | 漢字パズル、数独       |
| 岡 豊   | 豊中市  | S22年 | 釜石市 | ハイキング          |
| 村山 武雄 | 羽曳野市 | T12年 | 盛岡市 | 前進             |
| 村山ミツエ | 羽曳野市 | S03年 | 盛岡市 | 新しい年、新たなる一步    |
| 加藤 紀子 | 羽曳野市 | S23年 | 盛岡市 | 太極拳講師、ボランティア活動 |
| 平野 良夫 | 枚方市  | S22年 | 花巻市 | 囲碁、ゴルフ、読書      |
| 菊池 昌平 | 四条畷市 | S19年 | 遠野市 | 鉄道関連の趣味        |

年の瀬には珍しく抜けるような青空とポカポカ陽気の下、2年連続2回目の出場を果たした専大北上高校女子サッカー部は強豪・静岡の藤枝順心高校と対戦、全力を尽くして戦ったがなんせ相手は強すぎた。前半、相手校の猛攻を0-3で凌いだが、後半は力尽きて7点を許し0-10で大敗した。相手校は平成29年度インターハイで準優勝し、本大会でも勝ち進み優勝してしまった実力校であった。

試合終了後、イレブンは整列し応援席に一礼した

後、相手校応援席にも出向きエールを送るなど、さわやかな態度が印象に残った。（事務局F記）



### 職域幹事だより



### 大阪は暑い！

（株）IBC岩手放送 大阪支社長 佐々木雄平

大学生の頃東京に住んでました。昭和50年代中ごろは、風呂付アパートなんて殆どなく、銭湯に行ってサッパリしても帰り道でまた汗だくになるという経験は、遠い昔の事だなと思っていたのに、約4年前・・・2014年4月に大阪に赴任。

赴任したての4月は暑さにたかをくくっていました。5月もまあこんなもんだろうと思っていた矢先、ついに6月がやってきました。何この暑さ！？ 何この湿度！？いやいやまたまだろ・・・。7月マジ？？ 8月おかしいだろ？？ そう、最高気温35℃超え、最低30℃超え！いや盛岡も盆地なんで、昼は結構というかかなり暑い。

### 「カンサイジンニナリタイ」

生まれて初めて「関西」に足を踏み入れたのは、高校2年の春休み。当時、我が母校には「修学旅行」が無く、友人と2人での個人的修学旅行を敢行した時である。

盛岡から新幹線を乗り継ぎ、金閣寺、東寺など、定番コースを巡り、大阪経由で法隆寺へ。その後、奈良公園で鹿に囲まれ…弾丸ツアーではあったが、気の置けない友人との旅は本当に楽しい思い出となっている。

それから30数年経ち、社命により大阪へ。「盛岡を離れたくない。お父さん一人で大阪行け！」と泣きじやくる当時小6の娘と「大阪城近い？ 姫路城も見える？」とはしやぐ歴史好きの小3の息子、「関西人とは絶対仲良くなれない」と断言する埼玉出身の妻とともに大阪へ移住。引越しの翌日には「友達出来たでえ」と覚えたての関西弁で話す息子。3か月後には「ホンマ、関東のやつはイキっとるな」と東京からの転校生を批判する娘。半年後には「東京は疲れるわ。大体、人が多すぎるつちゅうねん」と埼玉の実家から戻ってきた妻。あっという間に家族皆がカンサイジンとなってしまった。

当初、カンサイ・オオサカは何か得体の知れない恐怖感を伴う響きがあった。が、いざ住んでみると心地よさ

けど、暑いの意味が違う！！

岩手県内で働いていた頃は半袖なんて絶対着ないし、ジャケットも普通の夏用で良かった・・・。しかし、大阪で長袖は北国人にはもう拷問もいいところ！半袖買わなきや、もっと薄いジャケット買わなきや、ホントに涼しいパンツ買わなきや・・・で結構散財。岩手の1/2くらいの軽装備でも汗がしたたり落ちてうかつに地上を歩けない・・・ゆえに大阪の地下街詳しくなる・・・という巡りも経験させていただきました。

今はさむーい冬。特に今年は寒気が厳しく大阪でも氷点下、でもせいぜい最低マイナス1℃、最高プラス3℃。盛岡は最低マイナス10℃、最高マイナス5℃。やはり大阪は暑いのである。冬は逆にその恩恵を深く感じる大切な季節である。（1月26日受領）

（株）テレビ岩手 大阪支社長 小原 文幸



あべのハルカス展望台にて

を感じる。先日、中3になった娘のクラブで、父母を招いての引退式があった。そこで「みっち（娘のあだ名）、アメッコケデ！」 「あ、あたしにもケデ！」と友人に囲まれている娘がいた。一瞬「？」となるも、こちらでいう「あめちゃん、ちょうどい」の岩手弁だと気付く。娘曰く「何かっていうと、『これ岩手弁だとなんていうの？』と聞かれ、『アメッコケデ』がメチャ受けて以来、クラブ内の標準語化した」との事。「東京モンは好かんけど、

# 名刺廣告

～益々のご清栄を祈念いたします～

## 黄金の國、 いわて。✿

マルコ・ポーロや西行法師、  
松尾芭翁が憇れた理想郷。

希望郷いわて文化大使

鎌田 龍児

関西岩手県人会 会長

〒530-0001 大阪市北区梅田一丁目3-1-900号  
大阪駅前第1ビル9階 岩手県大阪事務所内  
TEL&FAX 06-6344 5969  
E-mail:k7iwatek@yahoo.co.jp

北上市出身



ISO 9001  
認証取得 本社・大阪営業所  
塗装機器・用具全般

株式会社 佐藤産業

代表取締役 佐藤勇作

本店 大阪府堺市堺区三宝町6丁320番地1  
〒590-0906 TEL(072)225-0566㈹ FAX(072)225-0567  
東京支店・浜松営業所・サービスセンター  
URL <http://www.satohsan.com>  
E-mail:satoh.n1@poppy.ocn.ne.jp

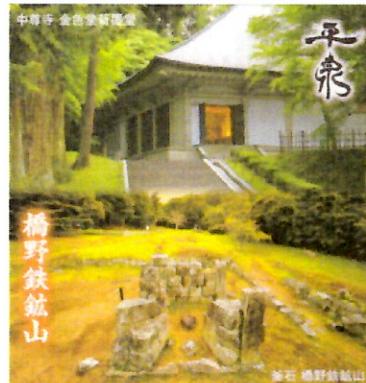
岩手町出身

柏

奥州大使

〒583-0023  
大坂市北区梅田一丁目3-1-1900号  
TEL 06-6344 5969  
FAX 06-6344 5969  
E-mail:k7iwatek@yahoo.co.jp

奥州市出身



希望郷いわて文化大使

大阪歴史懇談会・名誉会長

松坂 定徳

〒599-8123 堺市東区北野田561-28  
TEL&FAX:072-235-4185  
E-mail:sadanori.matsuzaka@mbr.nifty.com

陸前高田市出身

## 事務局掲示板

- ・<会員紹介>2017年11月 松原志朗氏(釜石市、現池田市)  
2017年11月 中村昭博氏(洋野町・旧種市町、現揖津市)
- ・<行事予定> \*合同お花見会: 2018年4月1日(日)  
11時30分～京都円山公園又は平野神社
- ・\*第90回選抜高校野球大会 花巻東高 6年ぶり3回目の出場  
組み合わせ抽選3/16(金) 甲子園開幕3/23(金)

## 編集後記

本号にはイーハトーブ35号に掲載できなかった昨年の行事報告を6編収めた。その他、松坂顧問による「流木から生まれた阿弥陀如来立像」の開眼法要および職域幹事お二人による大変興味深い体験談があつて充実した内容となった。氏名および名刺広告は「毎年、年度初めの号」のみの掲載で2ページ増の8ページとなつた。(深田記)

総合認証機関  
**JACO**

審査本部(関西支社駐在)

金野 衛

EMS主任審査員

株式会社日本環境認証機構(JACO)

〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-7 日販堂島ビル  
TEL 06-6345-1732 FAX 06-6345-1730  
E-mail konno-mamoru@jaco.co.jp URL <http://www.jaco.co.jp/>  
090-4497-6840

一関市出身

## どんぐりコールミュージカルスクール

主宰 堂 律子

兵庫県文化懇話会委員

〒663-8254  
兵庫県西宮市津門呉羽町7-12  
Tel/Fax: 0798-22-5497

陸前高田市出身

岩手大学農学部北水会  
C38

本部副会長  
近畿支部連合会長

深 田

〒668-0143  
兵庫県西宮市清和台西三丁目三一三二  
TEL: FAX(072)743-1398

稔

一戸町出身